

2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社リプライオリティ 上場取引所 福
 コード番号 242A URL <http://www.repriority.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 伸之
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 井手 雅雄 (TEL) 092(686)8300
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	594	△9.5	22	△68.6	31	△54.3	20	△58.8
2025年9月期第1四半期	657	—	70	—	69	—	50	—

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 20百万円(△58.8%) 2025年9月期第1四半期 50百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	18.59	18.49
2025年9月期第1四半期	45.11	44.91

(注) 当社は、2024年9月期第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	1,681	1,238	73.7
2025年9月期	1,723	1,268	73.6

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 1,238百万円 2025年9月期 1,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	45.60	45.60
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	0.00	—	45.60	45.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日~2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,817	7.1	248	△21.1	248	△24.3	163	△28.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期1Q	1,177,800株	2025年9月期	1,177,800株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	64,400株	2025年9月期	64,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期1Q	1,113,400株	2025年9月期1Q	1,113,400株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調が続きました。一方で、消費者物価は基調的に高止まりする局面が続いており、実質賃金の改善はなお途上であることから、消費者の節約志向が継続しております。また、米国の通商政策の変化や地政学的リスクの高まりにより、為替変動や原材料価格の上昇を通じた国内景気への波及が懸念されるなど、先行きに対する不透明感は依然として強い状況にあります。

通信販売業界においては、通信販売市場の2024年度の売上高は、2024年4月から2025年3月までの累計で前年比7.3%増の14兆5,500億円となり、直近10年の平均成長率は9.1%と、26年連続して増加傾向(2025年8月28日発表のJADMA「2024年度通販市場売上高調査」より)が続いており、成長を続けております。

このような環境のもと、当社グループは、今や生活の上で欠かすことのできない通信販売市場への売上拡大支援事業を行い、また、一般消費者の健康意識の高まりを背景に、無添加食品を中心とした通信販売事業を展開してまいりました。それらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は594,753千円(前年同期比9.5%減)、営業利益は22,060千円(前年同期比68.6%減)、経常利益は31,999千円(前年同期比54.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は20,692千円(前年同期比58.8%減)となりました。

以下、報告セグメント別の経営成績とその要因について記載いたします。

[通販支援事業]

・D2C事業

D2C事業部においては、前連結会計年度の第3四半期に発生した主要取引先1社における成果報酬単価の減額が影響し、前年同四半期比で減収減益となりました。一方で、前年に引き続き、コールセンター業務受託における特定取引先の受注比率が高い状況を抑制するため、受注先ポートフォリオの改善に取り組むとともに、受託キャパシティ拡充を目的とした業務委託先パートナー企業の開拓、自社商材の新規顧客獲得の強化を図ることで、当第2四半期連結累計期間以降は、主要取引先以外の受託拡大により業績回復を見込んでおります。

・リテールメディア事業

リテールメディア事業においては、既存顧客の受注確保に努めると共に、前年より提供を開始した新サービスの受注拡大を図ってまいりました。

以上の結果、通販支援事業の売上高(「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含まない外部顧客への売上高(以下同じ))は444,248千円(前年同期比7.8%減)、セグメント利益は25,193千円(前年同期比67.0%減)となりました。

[通信販売事業]

通信販売事業においては、2026年9月期を収益構造を改善・強化する期間と位置づけております。当第1四半期連結累計期間においては、コストの見直しを行い収益性の向上を図ってまいりました。この結果、通信販売事業の売上高は150,505千円(前年同期比14.3%減)、セグメント損失は3,132千円(前年同期間はセグメント損失6,167千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間における流動資産は、前連結会計年度末比で32,186千円減少し、1,624,040千円となりました。

これは主に、売掛金が4,737千円、商品が2,196千円増加した一方で、現金及び預金が34,010千円、未成業務支出金が10,187千円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比で9,913千円減少し、57,856千円となりました。これは主に有形固定資産が144千円減少し、投資その他の資産が9,768千円減少したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比で42,099千円減少し、1,681,896千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における流動負債は、前連結会計年度末比で6,190千円減少し、383,922千円となりました。これは主に、買掛金が7,117千円、未払法人税等が39,856千円、賞与引当金が12,022千円減少した一方で、未払金が33,509千円、未払消費税等が5,231千円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比で5,831千円減少し、59,203千円となりました。これは、長期借入金が5,831千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比12,021千円減少し、443,125千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産合計は、前連結会計年度末より30,078千円減少し、1,238,770千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益20,692千円の計上及び配当金の支払50,771千円によるものであります。この結果、自己資本比率は73.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月14日付「2025年9月期 決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,331,535	1,297,525
売掛金	254,305	259,043
商品	33,063	35,260
仕掛品	1,714	1,068
未成業務支出金	14,559	4,371
前払費用	13,816	16,684
その他	7,230	10,085
流動資産合計	1,656,226	1,624,040
固定資産		
有形固定資産	23,635	23,490
無形固定資産	311	311
投資その他の資産	43,823	34,054
固定資産合計	67,769	57,856
資産合計	1,723,995	1,681,896

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	138,141	131,024
1年内返済予定の長期借入金	29,988	29,988
未払金	127,558	161,068
未払法人税等	41,394	1,538
未払消費税等	20,991	26,222
前受金	3,045	2,762
賞与引当金	23,043	11,020
その他	5,950	20,297
流動負債合計	390,113	383,922
固定負債		
長期借入金	65,034	59,203
固定負債合計	65,034	59,203
負債合計	455,147	443,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	486,666	486,666
利益剰余金	822,662	792,584
自己株式	△90,480	△90,480
株主資本合計	1,268,848	1,238,770
純資産合計	1,268,848	1,238,770
負債純資産合計	1,723,995	1,681,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	657,445	594,753
売上原価	309,802	305,614
売上総利益	347,643	289,139
販売費及び一般管理費	277,491	267,078
営業利益	70,151	22,060
営業外収益		
受取利息及び配当金	—	629
助成金収入	—	8,940
障害者雇用調整金	—	530
その他	9	107
営業外収益合計	9	10,207
営業外費用		
支払利息	208	268
営業外費用合計	208	268
経常利益	69,953	31,999
税金等調整前四半期純利益	69,953	31,999
法人税、住民税及び事業税	12,437	1,538
法人税等調整額	7,291	9,768
法人税等合計	19,729	11,306
四半期純利益	50,224	20,692
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,224	20,692

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	50,224	20,692
四半期包括利益	50,224	20,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,224	20,692
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

記載事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額
	通販支援事業	通信販売事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	481,773	175,672	657,445	—	657,445
一定期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	481,773	175,672	657,445	—	657,445
外部顧客への売上高	481,773	175,672	657,445	—	657,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	38,942	—	38,942	△38,942	—
計	520,716	175,672	696,388	△38,942	657,445
セグメント利益又は損失	76,318	△6,167	70,151	—	70,151

(注)1. セグメント調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額
	通販支援事業	通信販売事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	444,248	150,505	594,753	—	594,753
一定期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	444,248	150,505	594,753	—	594,753
外部顧客への売上高	444,248	150,505	594,753	—	594,753
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,711	—	27,711	△27,711	—
計	471,960	150,505	622,465	△27,711	594,753
セグメント利益又は損失	25,193	△3,132	22,060	—	22,060

(注)1. セグメント調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,024千円	924千円